令和３年１２月吉日

カヌースプリント競技小野祐佳選手を
ご支援いただいた皆様へ

小野祐佳後援会
会　長　片倉幹男
副会長　村岡兼幸
副会長　遠藤照夫

「小野祐佳後援会だより第３号」の送付について

師走の候　皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

カヌースプリント競技の小野祐佳選手は去る８月に開催された東京２０２０オリンピックに念願の出場を果たし、女子カヤックシングル２００mにおいて予選、準々決勝と力漕、健闘し、私たちに夢と希望、感動を与えてくれました。

これはもとより小野選手自身の努力の結果であり心から敬意を表すると共に、何よりも多大なご支援をいただきました皆様のお力添えの賜と改めて感謝と御礼を申し上げます。

つきましては、大変遅くなりましたが、ご報告と御礼かたがた「小野祐佳後援会だより第３号」を送付いたしますので、ご高覧賜れば幸いに存じます。

なお、本後援会は小野選手がオリンピック出場という所期の目的を達成したことから本年度をもって解散いたします。皆様方から頂戴した寄付金の残余金は、カヌースプリント競技の普及振興と後進の育成を図るため、今後小野選手が指導者としての活動の基盤となる秋田県カヌー協会に寄付させていただくことになりましたので、何とぞご理解ご了承賜りますようお願い申し上げます。

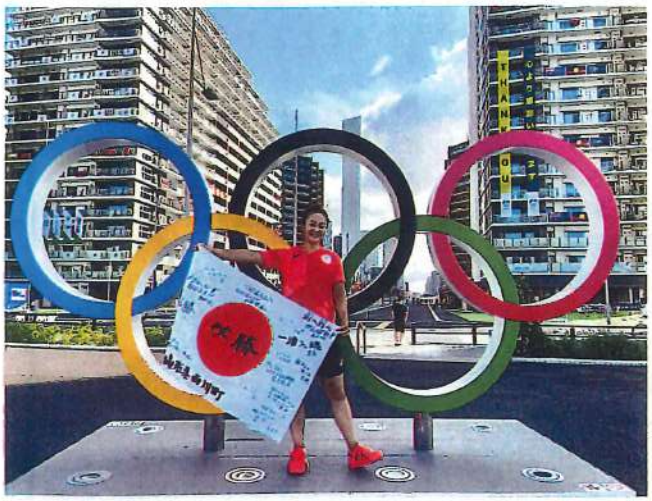
３年間にわたるご支援ご協力誠にありがとうございました。

問合せ先　小野祐佳後援会事務局
由利本荘市中竪町４９　中央鍼療院内
℡０１８４－２３－１５４８

小野祐佳後援会だより

（第３号　２０２１年１２月発行）

たくさんのご支援ありがとうございました！



東京２０２０オリンピック選手村にて

力漕する小野祐佳選手（準々決勝３組第８レーン）

お礼のことば

小野祐佳後援会会長　片倉幹男

東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催された記念すべき年も終わろうとしています。皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます

小野祐佳選手の世界の強豪を相手にしての戦いぶりに、多くの強い感動と希望、喜びを与えて頂きました。小野選手お疲れさま。

コロナ禍の中、３年間にわたり後援会の皆様をはじめ由利本荘市、市内外の団体法人、職場そして多数の方々から継続してご支援、多額のご寄付を寄せていただき、後援会として厚く感謝とお礼を申し上げます。誠に有難う御座いました。

この度の小野選手のオリンピックへの出場、活躍を通し、スポーツの世界のみならずあらゆる分野での人づくりの根底には、本人の能力、体力、努力等は勿論のことですが、長きにわたってその人を育んできた環境、風土等のはかり知れない力があることを深く考えさせられました。霊峰鳥海山に源を発する私どもの母なる川子吉川の流れがあればこそ、平成１９年秋田わか杉国体を契機にこの地にカヌー競技が普及・定着し、アクアパルという他の地域には見られないボート、カヌー競技等に最適な施設・環境が整えられました。加えて多くの市民、良き指導者の心からの支援・指導助言があってこそ日本を代表する小野祐佳選手が、この由利本荘市出身者として初めてオリンピックの檜舞台に立つことができたと思います。

今後も、小野選手に続き若い方々が各分野で全国、全世界を舞台に羽ばたくことを願い、出来るだけの力になって参りたいものです。

小野祐佳さんは、この度、市のスポーツ振興大使に任命されましたが、今後も後輩達のため力を貸して行ってください。

最後に改めて長い間後援会にご協力ご尽力頂きました皆々様に重ねて心から感謝とお礼を申し上げます。誠に有難う御座いました。

小野祐佳選手からのメッセージ

「東京五輪チャレンジ！　みなさまに感謝感激です」

史上初の延期となった東京五輪。追加された 1 年を超えて五輪に挑んだ期間、みなさまの支援が本当に力になりました。合計 18 年間の競技生活は、五輪でのメダル獲得に向けてがんばりましたが、やはり世界はもっと速く、メダルには届きませんでした。それでもレース後は清々しく、全力で戦えたことを誇りに思いました。ここまで応援してくださったみなさまがいなければ、成し得なかったことです。ほんとうにありがとうございました。

今回は、長文です。これまで競技生活の詳細をお伝えすることがありませんでしたが、最後になりますので、後援会を立ち上げていただいた 2019 年から東京五輪までの活動と印象に残っている出来事等を時系列で記させていただきます。

19 年は、18 年アジア大会のカヌースプリント競技全体成績が、予定していた金メダル獲得が叶わなかったことにより、国からの強化費が非常に少なく、日本代表選手でも、19 年度内に五輪出場枠を獲得した選手以外は年間活動費約 300 万円全額が自己負担でありました。この年は 4・5 月を石川県小松市で過ごし、世界選手権前の 2 ヶ月間は主にイタリアで高地合宿を行いました。Vernago 湖はオーストリアとの国境に位置するメラノ市内にあり、イタリアンアルプスとも呼ばれるスキーリゾートで知られるエリアで、1600m 高地はとても涼しく、集中して練習できました。湖畔には数頭のかわいいラマが飼われており、癒されましたが、強烈な匂いだったのを覚えています。8 月末にハンガリーセゲド市で行われた世界選手権では 500m 女子 K4 での五輪出場枠獲得を目指しましたが、1 分 34 秒と歴代日本女子チームの中で最速記録だったにもかかわらず、出場枠獲得順位まで約 2 秒足りませんでした。みなさまに支援していただいた多額の金額はもちろんのこと、コーチの采配により 19 年 6 月からはじめたたった 3 ヶ月の K4 は、圧倒的に練習時間が足りない状況でして、それでも 2 秒差で獲れた枠のことを思うと、非常に悔しかったです。

19 年 11 月から K1 に絞り、20 年 3 月アジア大陸予選に向けた強化を主に 2300m 高地メキシコで行いましたが、大陸予選の出場枠を決めた大会後、新型コロナウイルス感染症パンデミックにより、大陸予選は中止、東京五輪自体も 1 年の延期が決まりました。緊急事態宣言が発令された 20 年 4 月鹿児島県伊佐市で合宿中でしたが、連盟の指示で、現地合宿を続けなければならず、夏には後援会費が底をつくことに。活動禁止期間には地元の方々が手作り屋外ジムを作ってくださり、練習を続けることができました。 7 月末伊佐市隣の熊本県人吉市球磨川が氾濫しました。川沿いにカフェを構える親しい先輩宅とお店が被災したため、物資の提供に行ったり、球磨川を拠点とする高校カヌー部に、パドルを寄付したりしました。伊佐市も等しく被災し、床上下浸水等地域の方々は辛い思いをされておりました。加えて鹿児島県内で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、避難所も危ない、練習場である川内川も氾濫中で練習ができない、そして活動費も底をつく…結果、秋田に帰省を決めました。コロナ禍で活動しているアスリートってなんだろう、スポーツの意義ってなんだろう、でも、五輪は開催予定で、応援してくださるみなさまがいる以上、歩みを止めてはいけない、と、自問自答する日々でした。夏シーズンが終わり、11 月から香川県と沖縄県、鹿児島県を転々としながらトレーニングを行いました。通常冬季は暖かい国で合宿をしますので髪の毛はロングでも問題ないですが（自然乾燥可能）、今回は日本で越冬しなければいけませんでしたので、風邪予防のために 30 ㎝以上散髪し、ヘアドネーションをしました。トレードマークのお団子ヘアが東京五輪に間に合うか心配でしたが、間に合ってよかったです。

21 年 3 月に予定されたアジア大陸予選は、開催国タイの感染状況により 5 月に延期され本大会直前の出場枠決定となりました。タイ入国後 5 日間はホテル部屋で隔離、2 週間後の試合前までも、割り振られた 1 日 3 時間の練習以外はホテル部屋で隔離でした。重症患者急増により、大会 2 日前には外出禁止規制が入りました。今までにない大会前の過ごし方で困惑した選手がたくさんいましたが、選手の安全を考えた最善策でしたので、大会を行ってくれたことに感謝しています。実は、200m 種目前夜ハリケーンがあり、会場のテントやボートが飛ばされ、コースも壊れてしまうハプニングがありました。ボートが破損した選手もいましたが、わたしのボートは運良く無傷。また会場コース設営のために、約 2 時間レースが遅れましたが、お昼頃の一番体が動く、良い状態でレースに臨むことができました。結果は 2 位でしたが、1 位のカザフスタンが 500m 種目での五輪出場を選択したため、わたしに枠が降りてきました。この大会を通して、わたしは本当に運が良いと確信しました。ピンチがチャンスになり、みなさまがわたしを応援してくださる強さなど形に見えない力が働いたように思えてなりません。（わたしのボートは試合前無事だった代わりに、帰国の空輸時に破損しました。）

（次頁へ）

東京五輪までは国内で高地合宿ができる山形県月山湖で合宿を行い、地元東北の安心感のもと練習を積みました。自国開催の五輪は無観客ではありましたが、ボランティアの方々の温かい声援がとてもありがたかったです。常に風が吹く会場と、覚悟はしていたものの 2 レースとも向かい風でたいへんでした。ベストタイムがあの会場でも出すことができれば決勝までいけたのだと思いますが、世の中甘くないことを実感しました。五輪を戦う選手たちは世界選手権でも常連ぞろいで、コロナ禍で国際大会がなくなっていたなか、また一緒に闘えたことにも喜びを感じました。

世界中で当たり前だったことがそうではなくなった今、これからもスポーツのあり方は問われていくと思います。11 月には地元由利本荘市スポーツ振興大使に委嘱されました。これからもスポーツを通して、少しでもみんなが生きやすい社会になるよう、五輪まで辿り着いた経験を活かし、取り組みをしていきたいと思います。繰り返しになりますが、五輪に関わるすべての得難い経験は、みなさまの支援なくして叶いませんでした。ほんとうにありがとうございました。まだまだ以前とは異なる生活が続きそうです、みなさまご自愛ください。

活動報告（2019 年 1 月～ 2021 年 11 月）

年 月 日	活 動 内 容 ・ 場 所
2019. 1.10 ～ 3.10	ハワイ合宿
.3.11 ～ 6.28	国内合宿　香川県坂出市、石川県小松市、東京都北区
6.29 ～ 7.30	イタリア高地合宿　イタリアメラノ市
8. 1 ～ 8.22	世界選手権事前合宿　ﾊﾝｶﾞﾘｰﾄﾞｳﾅﾊﾞｰｻﾆｰ市
8.23 ～ 8.27	2019 世界選手権大会　ハンガリーセゲド市
9.13 ～ 9.15	東京オリンピックテストイベント　東京都海の森競技場
11. 1 ～ 12.20	国内合宿　石川県小松市、鹿児島県伊佐市
2020. 1 .8 ～ 3.2	メキシコ高地合宿　メキシコシティ
3. 3 ～ 3.7	アジア大陸予選選手選考会　香川県坂出市
	女子カヤックシングル２００ｍ
	１位（アジア大陸予選出場権獲得）
3 .8 ～ 7.17	国内合宿、自主練習　鹿児島県伊佐市
7.21 ～ 9.20	自主練習　由利本荘市
9.21 ～ 12.25	国内合宿　香川県坂出市、沖縄県名護市、鹿児島県伊佐市
2021. 1 .4 ～ 4.15	国内合宿　香川県坂出市、石川県小松市
4.17 ～ 5. 8	アジア大陸予選大会　タイ チョンブリ
5. 6	女子カヤックシングル２００ｍ
	２位（オリンピック出場権獲得）
5. 9 ～ 5.22	国内合宿　石川県小松市
5.27	五輪日本代表内定市長報告会　市役所
6 .1 ～ 7.28	国内合宿　山形県西川町
7.17	五輪出場壮行会　ボートプラザアクアパル
7.29 ～ 8. 8	東京２０２０オリンピック　東京都海の森競技場
8. 2	女子カヤックシングル２００ｍ
	予選４組　７位　準々決勝３組　７位
8.18	五輪出場市長報告会　市役所
8.21	五輪出場報告会　ボートプラザアクアパル
11.26	「東京オリンピック出場小野祐佳氏紹介コーナー」除幕式
〃	由利本荘市スポーツ振興大使委嘱状交付式
	ボートプラザアクアパル

写真提供：共同通信

市役所前の看板

アクアパル内展示コーナー

東京２０２０オリンピック選手村にて

支援金の交付状況

皆様方からいただきました寄付金は小野選手に支援金として下記の通り交付させていただきました。

総額　６，９５０，４５４円

（内訳）

海外強化合宿・世界選手権大会（イタリア・ハンガリー・メキシコ）	1,374,777 円
国内合宿等	2,603,618 円
（石川県小松市・香川県坂出市・沖縄県国頭村大宜味村・鹿児島県伊佐市・山形県西川町）	
競技用具・トレーニング用品等	1,139,384 円
トレーナー・整体等	1,267,773 円
オリンピック出場記念品等	314,902 円
激励金（平成元年）	50,000 円
オリンピック出場報奨金	200,000 円

収支決算状況

【２０１８年１２月～２０２１年１２月】（２０２１年１２月１２日現在）

収入総額 **10,527,003** 円　　支出総額 **8,029,776** 円　　差引残額 **2,497,227** 円

【収　入】

項　目	金額（円）	備　考
会　費	127,000	後援会費団体 3、個人 50
寄付金	10,399,976	別紙参照
雑収入	27	預金利子
合計	10,527,003	

【支　出】

項　目	金額（円）	備　考
支援金	6,950,454	上記参照
事務費	216,199	事務消耗品、印刷代、振替手数料等
予備費	863,123	五輪記念展示ケース 五輪レース写真等
合　計	8,029,776	

なお、残余金は、今後支出予定の事務費（約 80,000 円）を除き、カヌースプリント競技の普及振興を図るため、全額を秋田県カヌー協会へ寄付させていただきますので、何とぞご理解ご了承くださいますようお願い申し上げます。

また、本後援会は、小野選手の東京オリンピック出場という所期の目的を達成したことから、会則４条の規定に基づき残務整理終了次第解散いたします。３年間にわたるご支援ご協力誠にありがとうございました。

【発行元】
小野祐佳後援会　〒 015-0803　由利本荘市中竪町 49　中央鍼療院内
TEL（兼 FAX）0184-23-1548